

第**109**期

中間報告書

(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)

**WORLDWIDE
AUTOMOTIVE LIGHTING**

安全を光に託して



株式會社 小系製作所

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。皆さまには日頃より格別のご支援ご愛顧を賜り心より感謝申し上げます。

ここに、当社第109期第2四半期累計期間の営業概況等をご報告申し上げます。

当期間における経済情勢は、中国等の新興国での経済成長が継続する一方、米国大手証券会社の経営破綻など世界的な金融不安、株価・為替の変動、諸物価の高騰などにより、日本や米国・欧州等で経済成長が鈍化し、世界経済の減速感が一層強まりました。

自動車産業は、国内につきましては、内需が横這いのなか、欧州・アジア・中近東等への輸出向けが増えたことから、生産台数は前年同期に対し増加いたしました。海外におきましては、中国・タイなどアジア地域で生産が拡大したものの、北米・西欧等での減産が影響し、世界の自動車生産台数は横這いで推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、積極的な受注活動、新製品拡販、及び生産能力の増強等を展開、本年9月には、西日本の生産供給拠点の強化として小糸九州株式会社の第2工場が生産を開始いたしました。

当期間における売上高は、主力の自動車照明関連事業が微減のなか、他の事業が比較的順調に推移し、前年同期比2.8%増の2,209億円となりました。

事業の種類別セグメントの状況は、以下のとおりです。

〔自動車照明関連事業〕

中国等 新興国における増産、及び国内におけるディスチャージヘッドランプ、AFS (配光可変型ヘッドランプ)、LEDリアコンビネーションランプ等の新車装着率が高まったものの、北米・欧州が受注灯具の生産台数減等により減収となったことや、為替換算の影響により、売上高は前年同期比2.4%減の1,830億円となりました。

〔自動車照明以外・電気機器関連事業〕

情報システム機器、照明機器等の売上が低調となるなか、新幹線向けをはじめとする鉄道車両用機器の売上が順調に推移したことから、売上高は前年同期比17.9%増の138億円となりました。

〔その他事業〕

新型新幹線用シート、及び航空機用シートの受注増のほか、自動車用ヘッドランプクリーナ等が増加し、売上高は前年同期比55.2%増の240億円となりました。

利益

国内外における自動車減産、製品価格の競争激化など厳しい事業環境のなか、グループ各社とともに品質改善活動、原価低減諸施策を強力に推進するなど合理化に努めた結果、営業利益は前年同期比7.1%増の103億円となりました。

経常利益は前年同期比15.0%増の120億円、純利益におきましても前年同期比4.1%増の57億円となりました。



当第2四半期末における1株当たり株主配当金は、前年同期比1円増の12円といたしました。

当期末の配当金につきましては、前年同期と同額の12円にて、ご提案させて頂く予定であります。これにより、中間配当金を含めました当期の年間配当金は、前期比1円増の24円となり、7期連続の増配を予定しております。

今後とも株主皆さまのご期待にお応えすべく、更なる収益向上に努めて参りたく存じます。

今後の見通し

国内外の経済情勢は、世界的な金融危機、株価の大幅下落、為替変動(米国ドル安)により、世界同時不況の様相を呈しており、当社を取り巻く経営環境は、極めて厳しい状況にあります。

このような状況のなか、当社グループは、受注活動の強化、生産性向上、相互供給・相互補完に加え、原価低減諸施策の更なる展開を図り、今後とも業績向上に取り組んで参る所存であります。

2009年(平成21年)3月期通期の連結業績につきましては、売上高が、新規車種の受注拡大、新製品拡販などを展開するものの、国内外における自動車減産により、前期比減収の予想であります。

利益につきましても、自動車減産に伴う減収により収益が悪化し、営業利益・経常利益・当期純利益ともに減益の見通しであります。

株主の皆さまにおかれましては、何卒変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2008年(平成20年)12月

取締役社長

大嶽昌宏

小糸九州第2工場 稼動

当社の子会社である小糸九州株式会社は、九州及び中国地区の得意先への供給体制強化として第2工場を建設、9月1日より稼動いたしました。

第2工場は、今後の需要拡大が期待されるコンパクトカーへの対応などを図るため、徹底した原価低減を狙った最新鋭工場です。

工場稼動により、今後の当社グループ国内生産体制の最適化(生産効率向上、物流費低減 等)の促進も期待されます。

小糸九州は、これにより2工場体制となり、九州及び中国地区向の自動車照明機器の生産・供給拠点として、更なる生産効率の追求、コスト低減などQCDの強化を図り、お客さま第一の製品・サービスを提供して参ります。



人とくるまのテクノロジー展 出展

2008年5月21日より日本最大の自動車技術展「人とくるまのテクノロジー展2008」が開催され、当社も出展いたしました。

当社は、高輝度の白色LEDを光源として使用した、世界初のLEDヘッドランプとその構成部品、次世代のLEDヘッドランプ、新技術を採用した量産ランプなど、最新のランプ技術を展示いたしました。

ブースには多くの方々が来場され、自動車照明器のリーディングカンパニーとして開発力・技術力をPRいたしました。



連結財務ハイライト

(単位:百万円)

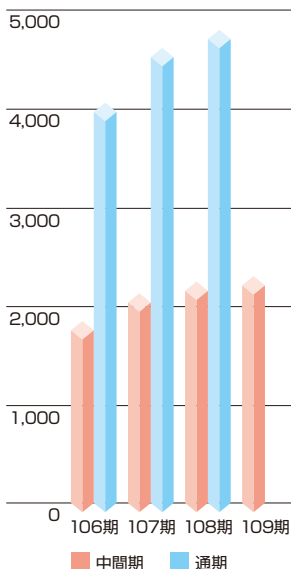
期別 区分	第106期 中間 平成17/4~17/9	第107期 中間 平成18/4~18/9	第108期 中間 平成19/4~19/9	第109期 中間 平成20/4~20/9
売上高	175,639	203,604	214,860	220,976
営業利益	8,259	9,476	9,639	10,321
経常利益	9,607	11,056	10,474	12,049
純利益	4,945	5,879	5,552	5,778
1株当たり純利益(円)	30.86	36.59	34.55	35.96
総資産	325,167	370,315	379,353	382,530
純資産	127,658	173,362	182,256	185,246

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

業績の推移

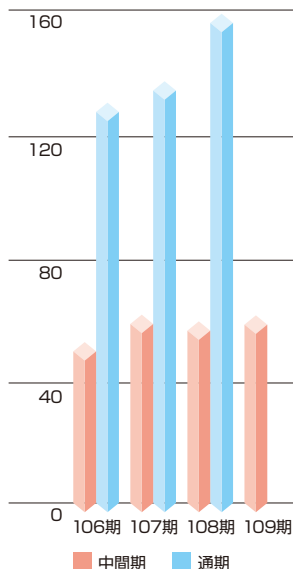
売上高

(単位:億円)



中間(当期)純利益

(単位:億円)



連結貸借対照表

(平成20年9月30日現在)

(単位:百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	165,849	流動負債	145,476
現金及び預金	12,397	支払手形及び買掛金	69,840
受取手形及び売掛金	76,380	短期借入金	35,042
有価証券	14,192	未払費用	19,471
製 品	17,039	未払法人税等	4,461
半 製 品	2,230	賞与引当金	5,113
仕 掛 品	9,341	役員賞与引当金	183
原 材 料	10,491	製品保証引当金	1,400
貯 蔵 品	5,486	そ の 他	9,962
繰延税金資産	6,688	固定負債	51,807
そ の 他	13,112	長期借入金	22,556
貸倒引当金	△1,511	退職給付引当金	26,700
固定資産	216,681	役員退職慰労引当金	1,637
有形固定資産	106,500	そ の 他	912
建物及び構築物(純額)	37,042	負債合計	197,283
機械装置及び運搬具(純額)	38,992	純資産の部	
工具、器具及び備品(純額)	13,361	株主資本	144,231
土 地	13,135	資 本 金	14,270
建設仮勘定	3,968	資本剰余金	17,107
無形固定資産	938	利益剰余金	112,916
投資その他の資産	109,242	自己株式	△64
投資有価証券	100,538	評価・換算差額等	8,632
長期貸付金	661	その他有価証券評価差額金	8,419
繰延税金資産	5,689	為替換算調整勘定	213
そ の 他	2,583	少数株主持分	32,382
貸倒引当金	△230	純資産合計	185,246
資産合計	382,530	負債純資産合計	382,530

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

第2四半期(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)

(単位:百万円)

経常損益の部	
営業損益	
売上高	220,976
売上原価	192,065
売上総利益	28,911
販売費及び一般管理費	18,589
営業利益	10,321
営業外損益	
営業外収益	2,813
受取利息及び配当金	1,359
持分法による投資利益	6
その他	1,448
営業外費用	1,085
支払利息	696
その他	389
経常利益	12,049
特別損益の部	
特別利益	98
特別損失	1,396
税金等調整前純利益	10,751
法人税、住民税及び事業税	5,493
法人税等調整額	△1,321
計	4,171
少数株主利益	800
純利益	5,778

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

第2四半期(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,142
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,924
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,253
現金及び現金同等物に係る換算差額	262
現金及び現金同等物の増減額	△773
現金及び現金同等物の期首残高	16,709
現金及び現金同等物の期末残高	15,935

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

事業別の状況

自動車照明関連事業



自動車照明以外・電気機器関連事業



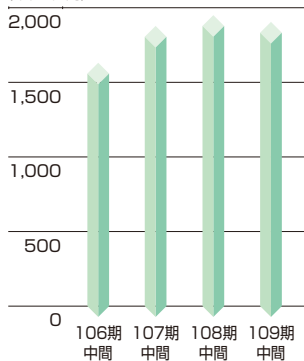
その他事業



売上高の推移

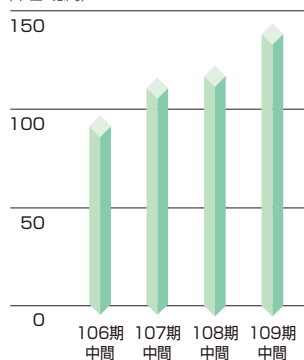
主要製品・業務一覧

(単位:億円)



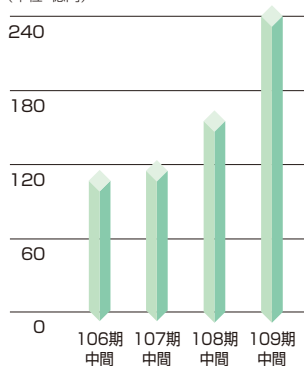
- LEDヘッドランプ
- ディスチャージヘッドランプ
- 前照灯並びに補助灯
- 標識灯
- ハイマウントストップランプ
- ハロゲン電球
- その他各種小型電球
- その他灯具等

(単位:億円)



- 鉄道車両用制御機器
- 道路交通信号
- 交通管制システム
- 道路・トンネル照明
- 施設照明
- 住設機器等

(単位:億円)



- 航空機部品・電子部品
- 航空機・鉄道車両用シート
- 環境調節装置
- 輸送業務
- 金融・保険業務等

- 商 号 株式会社 小糸製作所
KOITO MANUFACTURING CO., LTD.
- 創業年月日 大正 4年(1915年)4月1日
- 設立年月日 昭和11年(1936年)4月1日
- 資 本 金 142億70百万円
- 従 業 員 数 連結 15,530名
単独 4,365名
- 主要事業所
 - 本 社 〒108-8711 東京都港区高輪四丁目8番3号
Tel: (03)3443-7111
 - 静 岡 工 場 〒424-8764 静岡市清水区北脇500番地
Tel: (054)345-2251
 - 榛 原 工 場 〒421-0412 牧之原市坂部3407番地
 - 吉 川 工 場 〒424-0055 静岡市清水区吉川1114番地
 - 相 良 工 場 〒421-0514 牧之原市菅ヶ谷933番1
 - 富士川工機工場 〒421-3306 富士市中之郷2340番地
 - 研 究 所 〒424-8764 静岡市清水区北脇500番地
 - 東 京 支 店 〒108-8711 東京都港区高輪四丁目8番3号
 - 豊 田 支 店 〒471-0836 豊田市鴻ノ巣町2丁目12番3号
 - 大 阪 支 店 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1丁目5番45号
 - 広 島 支 店 〒739-0321 広島市安芸区中野6丁目9番46号
 - 札幌営業所 〒065-0033 札幌市東区北33条東5丁目1番28号
 - 仙台営業所 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4丁目12番12号
MB小田急ビル505号
 - 東京営業所 〒108-8711 東京都港区高輪四丁目8番3号
 - 宇都宮営業所 〒321-0953 宇都宮市東宿郷3丁目6番1号
アビタシオン東宿郷1階
 - 太田営業所 〒373-0821 太田市下浜田町370番地の11
 - 厚木営業所 〒243-0013 厚木市泉町11番15号NLO B.L.D
 - 静岡営業所 〒424-8764 静岡市清水区北脇500番地
 - 名古屋営業所 〒471-0836 豊田市鴻ノ巣町2丁目12番3号
 - 大阪営業所 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1丁目5番45号
 - 福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南4丁目2番10号
南近代ビル5階
 - 海外事務所 米国:デトロイト、シアトル
中国:上海市

グループ会社一覧

- 小糸九州株式会社 (自動車照明機器の製造・販売)
- 小糸工業株式会社 (鉄道車両用制御機器、交通管制システム機器、道路交通信号、鉄道車両・航空機用シート等)
- コイト運輸株式会社 (輸送業務)
- コイトエンタープライズ株式会社 (金融、保険、リース等)
- アオイテック株式会社 (電子・電気通信精密機器の製造・販売)
- 静岡電装株式会社 (自動車照明機器の製造・販売)
- 日星工業株式会社 (各種小型電球、電気機器の製造・販売)
- 藤枝オートライティング株式会社 (自動車照明機器の製造・販売)
- 静岡ワイヤーハーネス株式会社 (自動車照明機器の製造・販売)
- 榛原工機株式会社 (樹脂成形用金型の製造・販売)
- 静岡金型株式会社 (樹脂成形用金型の製造・販売)
- 竹田サンテック株式会社※¹ (樹脂成形用金型の製造・販売)
- 株式会社ニュー富士※² (サービス業)
- ミナモト通信株式会社 (信号・保安機器の保守管理)
- 丘山産業株式会社 (鉄道車両シート等の製造・販売)
- 道路計装株式会社※¹ (軸重測定装置の保守据付、保守機器の工事・保守管理)
-
- ノース・アメリカン・ライティング・インク (米 国:自動車照明機器の製造・販売)
- コイト・ヨーロッパ NV (ベルギー:自動車照明機器の販売)
- コイト・ヨーロッパ・リミテッド (英 国:自動車照明機器の製造・販売)
- コイト・チェコス. r. o. (チェコ:自動車照明機器の製造・販売)
- 上海小糸車灯有限公司 (中 国:自動車照明機器の製造・販売)
- 広州小糸車灯有限公司 (中 国:自動車照明機器の製造・販売)
- 福州小糸大億車灯有限公司 (中 国:自動車照明機器の製造・販売)
- タイ・コイト・カンパニー・リミテッド (タ イ:自動車照明機器の製造・販売)
- 大億交通工業製造股份有限公司 (台 湾:自動車照明機器の製造・販売)
- インディア・シバル・ライティング・プライベート・リミテッド (インド:自動車照明機器の製造・販売)
- K P S N . A . , I N C . (米 国:鉄道車両用電装品・シートの製造・販売)
- 常州小糸今創交通設備有限公司 (中 国:鉄道車両用電装品の製造・販売)

(注) 無印 連結子会社

※¹ 関連会社で持分法適用会社

※² 非連結子会社

取締役及び監査役

(平成20年9月30日現在)

地 位	氏 名
代表取締役会長	大 嶽 隆 司
代表取締役社長	大 嶽 昌 宏
代表取締役副社長	後 藤 周 一
専 務 取 締 役	小石原 宏
専 務 取 締 役	山 室 瑞 夫
専 務 取 締 役	菊 地 光 雄
専 務 取 締 役	鈴 木 俊 治
常 務 取 締 役	佐 野 伊三夫
常 務 取 締 役	小 川 喜 久
常 務 取 締 役	横 矢 雄 二
常 務 取 締 役	川 口 洋 平
常 務 取 締 役	三 原 弘 志
常 務 取 締 役	榊 原 公 一
常 務 取 締 役	植 木 和 雄
取締役相談役	加 藤 順 介
取 締 役	鹿 島 幾三郎
取 締 役	長 倉 公 憲
取 締 役	有 馬 健 司
取 締 役	加 藤 充 明
取 締 役	豊 田 淳
取 締 役	瀧 川 修 己
取 締 役	山 梨 隆 夫
取 締 役	内 山 正 巳
取 締 役	井 上 敦
常 勤 監 査 役	中 川 豊 文
常 勤 監 査 役	長 澤 亮
監 査 役	草 野 耕 一
監 査 役	川 島 信 義

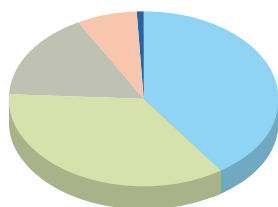
株式の状況

(平成20年9月30日現在)

発行可能株式総数	320,000,000株
発行済株式の総数	160,789,436株
株主数	6,584名
(うち単元株所有の株主数)	5,755名)

所有者別株式分布状況(株式数比率)

金融機関	40.43%
金融商品取引業者(証券会社)	0.57%
その他国内法人	35.58%
個人・その他	7.47%
外国法人等	15.95%



- 金融機関
- その他国内法人
- 外国法人等
- 個人・その他
- 金融商品取引業者(証券会社)

大株主

株主名	持株数(千株)
トヨタ自動車株式会社	32,158
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	10,070
松下電器産業株式会社	8,558
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,449
日本生命保険相互会社	5,979
株式会社三井住友銀行	5,442
株式会社三菱東京UFJ銀行	5,154

(注)1. 「持株数」は千株未満を切り捨てて表示しております。

2. 松下電器産業株式会社は、平成20年10月1日にパナソニック株式会社に商号変更しております。

株式についてのご案内

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 配当金受領 毎年3月31日
株主確定日 中間配当を行う場合 毎年9月30日
- 定時株主総会 毎年6月中(年1回)
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話0120-232-711(通話料無料)
- 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
(下記ご注意ご参照)

(ご注意)株主名簿管理人の「取次所」の定めについて

株券電子化後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなるため、株主名簿管理人の「取次所」は、株券電子化の実施時をもって廃止いたします。

なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の本店でお支払いいたします。

■ 平成21年1月5日施行の株券電子化実施に伴うお知らせ

1. 特別口座について

(1) 特別口座への口座残高の記帳

株券保管振替制度をご利用でない株主様につきましては、ご所有の株式は三菱UFJ信託銀行に開設される特別口座に記録されます(平成21年1月26日に記録される予定です)。なお、特別口座に記録された株式数等のご案内は、平成21年2月中旬頃に、三菱UFJ信託銀行から、お届けのご住所宛にお送りする予定です。

(2) 特別口座に記録された株式に関するお手続き

特別口座に記録された株式に関するお手続き(株主様の口座への振替請求・単元未満株式買取(買増)請求・お届け住所の変更・配当金の振込指定等)につきましては、株券電子化実施後、下記口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)の連絡先にお問合せください。なお、特別口座に記録された株主様のお手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本店でお取次ぎいたします。

(3) 特別口座の口座管理機関および連絡先

特別口座の口座管理機関は、当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行となります。

口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話0120-232-711(通話料無料)

(4) 特別口座の口座管理機関でのお手続きの受付の開始時期

特別口座に記録された株式についての、株主の口座への振替請求、単元未満株式買取（買増）請求等の各種ご請求やお届出につきましては、平成21年1月26日（月）以降にお手続きが可能となりますので、ご留意ください。

2. 株券電子化前後における単元未満株式買取・買増のご請求について

株券電子化の前後においては、単元未満株式買取請求ならびに買増請求につきまして、以下のとおりとなりますので、ご留意ください。

(1) 保管振替制度をご利用でない単元未満株式に関するご請求

① 単元未満株式買取請求

平成21年1月5日（月）から平成21年1月25日（日）までは、受付をいたしません。

また、平成20年12月25日（木）から12月30日（火）までのご請求受付分につきましては、買取価格はご請求受付日の終値を適用いたしますが、買取代金のお支払いを平成21年1月30日（金）とさせていただきます。

② 単元未満株式買増請求

平成20年12月12日（金）から平成21年1月25日（日）までは、受付をいたしません。

(2) 保管振替制度をご利用の単元未満株式に関するご請求

株券電子化実施の前後において、一定期間お取引の証券会社で取次ぎを行わないと承っております。

具体的な日程につきましては、証券会社により異なることが考えられますので、お取引の証券会社にお問い合わせください。

3. 株主様のご住所およびお名前のご登録について

株主様のご住所およびお名前の文字に、振替機関（証券保管振替機構）で指定されていない漢字等が含まれている場合には、その全部または一部を振替機関が指定した文字に置き換えのうえ、株主名簿にご登録いたします。この場合、株主様にお送りする通知物の宛名は、振替機関が指定した文字となりますのでご了承ください。

4. 株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙（届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等）のご請求につきましては、以下のお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。なお、株券電子化実施後は、特別口座に記録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご留意ください。

電話0120-244-479（通話料無料）

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

安全を光に託して

Koito

<http://www.koito.co.jp>



古紙配合率100%
再生紙を使用しています。



アロマフリー型大豆インキ
を使用しています。